

【優秀施工者国土交通大臣顕彰について】

良質な住宅・社会資本の整備のためには何よりも直接工事に携わる技術・技能に優れた人材が必要不可欠です。また、国民生活の向上に重要な役割を果たす我が国の基幹産業である建設産業にとって、優秀な建設技能者の確保・育成が大きな課題となっています。

国土交通省では、建設産業の第一線で「ものづくり」に直接従事されている方々に誇りと意欲を持っていただくとともに、これらの方々を広く国民に知っていただき、その社会的地位・評価の向上を図っていくことを目的として、特に優秀な技術・技能を持ち、後進の指導・育成等に多大な貢献をされている建設技能者の方々を対象として、優秀施工者国土交通大臣顕彰を実施しています。

本顕彰は、平成4年度より実施されており、第22回目となる平成25年度は、379名の優秀な建設技能者を新たに建設マスターとして顕彰します。これにより建設マスター総数は合計8,025名となります。

優秀施工者国土交通大臣顕彰の詳細については、下記のホームページをご覧ください。
http://www.mlit.go.jp/totikensangyo/const/1_6_bt_000062.html

今年度の傾向

- 被顕彰者の年齢構成

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
平均年齢	51.5歳	52.2歳	52.2歳
最も多い年齢(人数)	57歳(26人)	52歳(25人)	58歳(29人)
最低年齢	38歳	38歳	37歳
最高年齢	73歳	70歳	65歳
35～39歳の人数	6人	2人	2人
40～49歳の人数	137人	121人	143人
50～60歳の人数	220人	212人	235人
61歳以上の人数	16人	27人	21人
被顕彰者数	379人	362人	401人

- 被顕彰者の主な職種

	平成25年度	平成24年度	平成23年度
土工	47人(12.4%)	54人(14.9%)	52人(13.0%)
建設機械運転工	45人(11.8%)	40人(11.0%)	39人(9.7%)
大工(型枠大工含む)	42人(11.1%)	33人(9.1%)	46人(11.5%)